

内部評価の結果

【事業名】

太刀浦第1 コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業

【評価結果】

計画どおり実施

本事業は、市民生活を支える重要な物流基盤である太刀浦第1 コンテナターミナルに設置している4基のクレーンのうち、3基のクレーン（7号・8号・9号クレーン）の更新を行うものである。

太刀浦第1 コンテナターミナルは市全体の約50%のコンテナを取り扱う重要な港湾施設であるが、対象のクレーンは設置後27年～29年を経過し（法定耐用年数17年）、老朽化が著しく、安全性の低下による事故や故障の増加が懸念される。また、近年はコンテナ船が大型化しているため、現状のクレーンでは十分に対応できないケースが増加しており、利用者からはクレーンの大型化の要望が上がっている。

本事業では、クレーンを更新し、利用者ニーズに対応した大型化等を実施することで、安全かつ安定した設備と安定した物流サービスを提供するとともに、物流機能の更なる強化やコンテナターミナルの利用促進を図ることを目的とする。加えて、地域企業の発展と新たな企業立地に繋げ、本市の産業・経済の発展や雇用の拡大を図る。

以上を踏まえ、本事業は、北九州市・新ビジョンが掲げる「稼げるまち」の実現に寄与するものであり、また、北九州港長期構想における「物流を強靱化し、産業をリードするみなと」に基づく取組みである。事業実施の意義及び必要性は非常に高いことから、計画どおり事業を実施することを対応方針として決定した。

なお、公共事業調整会議では、将来的に維持管理費を低減できる仕様とすることや、今後の物価高騰を見据え可能な範囲での発注前倒しや工期短縮について意見があった。これらの意見を踏まえ、引き続きコスト縮減の検討に努める。また、コンテナクレーン更新等による物流機能の向上を最大限に生かして集貨や創貨をしっかりと進め、コンテナ取扱量の増加に努める。